郡市区等医師会 御中

大阪府医師会(公印省略)

「感染症発生動向調査情報(第11週)」の送付について

平素は、本会事業の推進に対しまして、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、標記につきまして、大阪府感染症情報センターより、週報データが届きましたのでご提供 申し上げます。ご活用のほどお願い申し上げます。

コメントのピックアップ内容は府医ニュースにも掲載しており、大阪府感染症情報センターホームページには、詳細な感染症発生動向状況等が掲載されています。あわせてご活用くださいますようお願い申し上げます。

《 大阪府感染症情報センター ホームページ 》

http://www.iph.pref.osaka.jp/

【問合せ先】

大阪府医師会·地域医療 1 課 TEL 06-6763-7012

大阪府感染症発生動向調査週報 (速報) 2025年第11週(3月10日~3月16日)

今週のコメント

~インフルエンザ~ 咳エチケット、手洗い、マスクの着用が重要

定点把握感染症

「インフルエンザ 再び増加」

第11週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は2,990例であり、前週比8.3%減であった。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、RSウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、伝染性紅斑、流行性角結膜炎の順で、定点あたり報告数はそれぞれ11.59、1.55、1.36、0.31、0.31である。

感染性胃腸炎の報告数は前週比10%減の2,226例で、南河内14.56、中河内13.74、大阪市南部13.12、豊能11.91、堺市11.68であった。

RSウイルス感染症は12%減の297例で、南河内3.13、大阪市西部2.00、北河内1.76である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は前週から1例減少の262例で、大阪市南部2.29、堺市2.26、北河内2.16であった。 伝染性紅斑は88%増の60例で、豊能0.91、大阪市西部0.50、北河内0.32である。

流行性角結膜炎は60%増の16例で、南河内1.00、北河内・泉州0.67であった。

インフルエンザは34%増の700例で、定点あたり報告数は2.33である。北河内4.80、南河内3.88、大阪市西部3.53、中河内2.80、三島2.15であった。

新型コロナウイルス感染症は12%減の664例で、定点あたり報告数は2.21である。堺市3.28、北河内3.27、泉州2.94、南河内2.46、大阪市東部2.43であった。

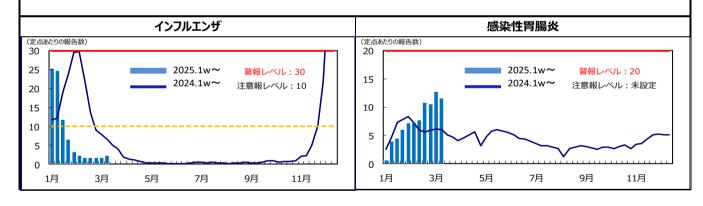


表 1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向(2025年 第11週3月10日~3月16日)

第11週 の順位	第10週 の順位	感染症	2025年 第11週の 定点あたり 報告数	前週比増減	2024年 第11週の 定点あたり 報告数	2025年第11週の 年齢別 患者発生数 最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	11.59	10%減	6.05	10-14歳_13%
2	2	RSウイルス感染症	1.55	12%減	1.84	1歳未満_28%
3	3	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.36	0%減	3.32	5歳_15%
4	8	伝染性紅斑	0.31	88%増	0.01	5歳_22%
4	6	流行性角結膜炎	0.31	60%増	0.19	20歳以上_56%
参考		インフルエンザ (インフルエンザ定点報告疾患)	2.33	34%増	6.55	10-14歳_24%
参考		新型コロナウイルス感染症 (COVID-19定点報告疾患)	2.21	12%減	3.85	80歳以上_12%

~麻しん~ ワクチンで予防可能な感染症です。

全数把握感染症

麻しん

麻しん(はしか)は麻しんウイルスによって引き起こされる発熱を伴う発しん性疾患で、感染すると高熱と結膜炎などの症状と、全身性の発しんが出現する。潜伏期間は1-2週間である。強い感染力(一人の患者が12~18人に感染伝播)のため、麻しん発生時には早期の診断と感染拡大に対する措置が重要となる。2015年3月、日本は麻しん排除国に認定されている。一方で、2024年はアフリカやヨーロッパ諸国、日本との行き来が多い東南アジア諸国(ベトナム、タイ、インドネシア、フィリピン、マレーシアなど)での流行が認められ、国内でも流行地域への渡航時の感染が疑われる事例が報告されている。

症状(発熱、せき、鼻水、眼球結膜の充血、発しん等)があり、1)1か月以内に麻しん患者と接触していた場合、2)麻しん流行国に最近の旅行歴がある場合、麻しんを疑い、感染拡大を防止するため、医療機関を早期に受診する。受診に際し、医療機関に事前連絡し、麻しん疑いを伝え、指示に従うことが重要である。

麻しんはワクチン(1歳以上で2回)で予防可能な感染症であり、接種の徹底が予防や感染拡大の防止に重要である。

麻しんとは(国立感染症研究所) 麻しん情報(大阪府感染症情報センター)



表 2. 大阪府全数報告数(2025年 第11週3月10日~3月16日)

注意: この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります (報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ> 【週報】> 全数把握疾患 をご覧ください。)

	疾患名 ()内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	二島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	報告数府内累積
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1								1	14
4 類感染症	E型肝炎	1								1	3
	ウイルス性肝炎	1								1	4
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1				1					23
	侵襲性肺炎球菌感染症	2				1	1				99
5 類感染症	水痘(入院例)	1							1		11
	梅毒	15				1			3	11	341
	百日咳	40	5	1	11	5	3		9	6	302
	麻しん	1				1					4
結核	結核 新登録患者数:90名					(P	り 肺	•喀痰	塗抹	場性	33名)
(2025年1月分)		(府内	内累積	報告	数 90)名、[勺 肺	•喀痰	塗抹隊	易性	33名)

第11週 2025年3月10日~2025年3月16日 (ブロック別) (年齢別) 年齢 合 計 区分 ブロック名 大阪市 大阪市 大阪市 大阪市 歳 歳 ケ ケ 豊能 三島 北河内 中河内 南河内 堺市 泉州 北部 西部 東部 南部 月 歳 歳 歳 歳 か か 歳 小 児 科 未 未 定点数 満 合計 歳 疾病名 インフルエンサ゛ 疾病名 RSウイルス感染症 咽 咽頭結膜熱 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 Α 小 感染性胃腸炎 感 児 科 定 水痘 水 手足口病 手 握 伝染性紅斑 伝 患 突発性発しん 突 ヘルパンギーナ 流行性耳下腺炎 把 眼 急性出血性結膜炎 握 科 疾 定 流行性角結膜炎 流 患点 合 191 413 343 309 307 177 134 163 294 合計 67 119 328 253 | 257 | 281 | 249 | 211 | 194 61 170 計 細菌性髄膜炎 基 幹 無菌性髄膜炎 定 点 マイコプラズマ肺炎 ₹ 把 握 クラミジア肺炎(オウム病を除く) ク 疾 患 感染性胃腸炎(□タウイルス) 58 | 197 イ定 インフルエンザ (ブロック別) 第11週 2025年3月10日~2025年3月16日

()L	ツク別)															わエ	1週 20	23年3万	10Д. «2	025年3月	110口
	ブロック名	01	02	03	04	05	06	07	08 大阪市	09 大阪市	10 大阪市	11 大阪市	大阪府計	大阪市計	堺市計	東大阪市計	高槻市計	豊中市計	枚方市計	合 計	上位 5疾患
		豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	北部	西部	東部	南部	7 1/20/13 21	7 (12)	,,,,,,,						順位
	定点数 小 児 科	22	17	25	19	16	19	20	13	10	14	17	83	54	19	11	8	9	8	192	
	眼科	5	4	6	5	4	5	6	5	2	6	4	20	17	5	3	2	2	3	52	
	基 幹	2	2	2	2	2	2	2	10	4		26	8	4	2	1	2	0	1	18	
疾症	名 インフルエンザ	35	27	41	30	24	29	33	19	15	21	26	133	81	29	17	13	14	13	300	
	RSウイルス感染症	▽ 18	9	▼ 44	30	50	31	33	▽ 22	A 20	18	△ 22	102	82	31	25	6	▽ 5	24	297	2
	咽頭結膜熱	0	△ 2	2	7	▽ 6	▽ 4	△ 6	▽ 3	△ 2	4 4	0	▼ 15	9	∇ 4	▽ 1	0	0	0	36	5
/J\	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	20	13	△ 54	24	▽ 16	43	▽ 16	1 1	10	△ 16	39	85	76	43	▲ 17	▽ 1	▽ 5	11	262	3
児科	感染性胃腸炎	262	▽ 156	291	261	233	222	231	△ 134	▽ 95	118	▽ 223	771	570	222	143	▽ 67	150	▽ 97	2226	1
定点	水痘	△ 8	△ 3	▽ 0	△ 5	△ 2	3	▲ 9	▽ 0	1	△ 1	∇ 4	△ 15	▽ 6	3	1	0	△ 7	0	36	5
把握	手足口病	△ 8	0	▽ 0	4	△ 1	0	0	0	0	0	△ 2	1	△ 2	0	0	0	△ 3	0	△ 15	
疾患	伝染性紅斑	a 20	△ 5	8	2	1	△ 5	△ 3	4	△ 5	4	△ 3	△ 17	1 6	△ 5	1	0	1 3	△ 5	△ 60	4
	突発性発しん	5	▽ 1	8	▽ 8	3	▽ 1	▼ 1	▽ 1	△ 1	▼ 1	▽ 0	9	⊽ 3	▽ 1	⊽ 5	▽ 0	⊽ 3	▽ 2	⊽ 30	
	ヘルパンギーナ	1	△ 2	0	△ 1	0	0	0	0	0	▽ 0	0	△ 2	▽ 0	0	0	0	0	0	4	
	流行性耳下腺炎	0	0	△ 2	▽ 0	▽ 0	▽ 0	△ 2	0	0	0	△ 1	4	△ 1	▽ 0	∇ 0	0	0	0	▼ 5	
把 眼握 科	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	A 2	△ 1	0	0	0	A 2	△ 1	0	0	0	0	0	A 3	
疾定患点	流行性角結膜炎	△ 1	0	4 4	▼ 1	4 4	0	4 4	1	▽ 0	△ 1	0	a 8	▽ 2	0	0	0	△ 1	0	△ 16	
	合 計	343	191	413	343	316	309	307	177	▽ 134	163	▽ 294	1031	768	309	193	▽ 74	187	139	2990	
基	細菌性髄膜炎	0	0	△ 1	0	0	0	0		0			0	0	0	0	0	0	△ 1	△ 1	
幹定	無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0		0			0	0	0	0	0	0	0	0	
点把	マイコプラズマ肺炎	0	△ 1	△ 1	△ 1	▽ 0	△ 2	0		0			▽ 0	0	△ 2	△ 1	△ 1	0	△ 1	△ 5	
握 疾	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0		0			0	0	0	0	0	0	0	0	
患	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	1	1	△ 2	7	▽ 1	0		1			8	△ 1	▽ 1	△ 1	1	0	1	14	
/定	インフルエンザ	68	▲ 58	△ 197	△ 84	93	\$ 59	▽ 14	33	△ 53	▼ 21	⊽ 20	▲ 258	127	▲ 59	△ 62	△ 22	46	△ 85	△ 700	

全国感染症集計 2025年10週(03月03日~03月09日)

1〜4類(全数把握) エボラ出血熱 クリミア・コンゴ出血熱 痘そう 南米出血熱	報告数
クリミア・コンゴ出血熱 痘そう	
クリミア・コンゴ出血熱 痘そう	
痘そう	
	0
南米出血熱	0
刊八口皿示	0
ペスト	0
	U
マールブルグ病	0
	0
ラッサ熱	0
新型インフルエンザ(A/H1N1)	0
急性灰白髄炎	0
結核	206
ジフテリア	0
重症急性呼吸器症候群(病原体がベータコロ	
<u> </u>	0
ナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限	J
中東呼吸器症候群(病原体がベータコロナウ	
	0
イルス属MERSコロナウイルスであるものに限	-
鳥インフルエンザ(H5N1)	0
鳥インフルエンザ(H7N9)	0
コレラ	0
細菌性赤痢	2
腸管出血性大腸菌感染症	11
腸チフス	1
パラチフス	1
E型肝炎	12
ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む。)	0
A型肝炎	5
	_
エキノコックス症	0
エムポックス	0
黄熱	0
オウム病	1
オムスク出血熱	0
回帰熱	0
キャサヌル森林病	0
Q熱	0
XT_1	
狂犬病	0
コクシジオイデス症	0
ジカウイルス感染症	0
重症熱性血小板減少症候群(病原体がフレ	
単症がは血小似病シル疾症(ががなか)	0
ボウイルス属SFTSウイルスであるものに限	U
腎症候性出血熱	
	0
西部ウマ脳炎	0
ダニ媒介脳炎	0
炭疽	0
チクングニア熱	0
つつが虫病	1
デング熱	
	8
東部ウマ脳炎	0
鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く。	0
ニパウイルス感染症	0
日本紅斑熱	0
日本脳炎	0
ハンタウイルス肺症候群	0
Bウイルス病	0
鼻疽	0
ブルセラ症	0
ベネズエラウマ脳炎	0
ヘンドラウイルス感染症	0
発しんチフス	0
ボツリヌス症	0
マラリア	0
野兎病	0
ライム病	0
	0
リッサウイルス感染症	0
リッサウイルス感染症 リフトバレー熱	
リッサウイルス感染症 リフトバレー熱 類鼻疽	0
リッサウイルス感染症 リフトバレー熱	
リッサウイルス感染症 リフトバレー熱 類鼻疽 レジオネラ症	0 31
リッサウイルス感染症 リフトバレー熱 類鼻疽 レジオネラ症 レプトスピラ症	0 31 0
リッサウイルス感染症 リフトバレー熱 類鼻疽 レジオネラ症	0 31 0 0

5類感染症の一部(全数把握)	報告数
アメーバ赤痢	5
ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く。)	7
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	26
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)	1
急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ	2
媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ	2
クリプトスポリジウム症	0
クロイツフェルト・ヤコブ病	2
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	32
後天性免疫不全症候群	32 5
ジアルジア症	0
侵襲性インフルエンザ菌感染症	11
侵襲性髄膜炎菌感染症	3
侵襲性肺炎球菌感染症	67
水痘 (患者が入院を要すると認められるものに限る。)	8
先天性風しん症候群	0
梅毒	153
播種性クリプトコックス症	2
破傷風	1
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1
百日咳	482
風しん	1
麻しん	12
薬剤耐性アシネトバクター感染症	1

定点把握	報告数	定点当り
インフルエンザ	9941	2.02
COVID-19	20041	4.07
R Sウイルス感染症	4391	1.41
咽頭結膜熱	904	0.29
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7291	2.33
感染性胃腸炎	35553	11.38
水 痘	833	0.27
手足口病	156	0.05
伝染性紅斑	1793	0.57
突発性発しん	628	0.20
ヘルパンギーナ	38	0.01
流行性耳下腺炎	120	0.04
急性出血性結膜炎	29	0.04
流行性角結膜炎	576	0.83
細菌性髄膜炎	10	0.02
無菌性髄膜炎	12	0.02
マイコプラズマ肺炎	137	0.28
クラミジア肺炎(オウム病を除く。)	-	ı
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	74	0.15

定点数 インフルエンザ/COVID-19 小児科 眼科 基幹病院 4925 3124 698 481

1月(月報)

1/1(/1+ X)		
性感染症・基幹定点	報告数	定点当り
性器クラミジア感染症	2217	2.28
性器ヘルペスウイルス感染症	798	0.82
尖圭コンジローマ	492	0.51
淋菌感染症	701	0.72
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1495	3.13
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	116	0.24
薬剤耐性緑膿菌感染症	6	0.01
定点数		
STD	973	
基幹病院	477	

の調査結果で若干変更が生じることがあります。

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) ブロック別 · 疾患別 · 年齢別患者発生数

(ブロック別) 第11週 2025年3月10日~2025年3月16日

(プロプブルリ)								DIIVE	202343	71100	2025	J/] I U L
	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	
ブロック名	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市 北部	大阪市 西部	大阪市 東部	大阪市 南部	合計
COVID-19定点数	35	27	41	30	24	29	33	19	15	21	26	300
疾病名	報告数											
新型コロナウイルス感染症	52	40	134	51	59	95	97	20	15	51	50	664
疾病名	定点あた	0報告数										
新型コロナウイルス感染症	1.49	1.48	3.27	1.70	2.46	3.28	2.94	1.05	1.00	2.43	1.92	2.21
10週	2.03	1.56	3.12	2.87	3.42	2.86	2.94	2.16	0.87	1.86	2.69	2.50
9週	2.71	2.00	3.51	2.77	3.42	3.55	3.33	2.26	1.87	2.50	2.41	2.85
8週	3.57	2.59	3.76	2.73	3.17	3.34	4.73	2.84	1.93	2.14	1.78	3.11
7週	2.97	2.70	2.78	2.77	5.00	3.86	3.00	2.89	2.80	2.41	2.89	3.09
6週	3.40	3.19	4.61	4.63	5.79	5.14	4.15	2.68	3.00	2.86	3.22	3.99

(年齢別)

年齢区分	0歳	1歳 から 4歳	5歳 から 9歳	10歳 から 19歳	20歳 から 29歳	30歳 から 39歳	40歳 から 49歳	50歳 から 59歳	60歳 から 69歳	70歳 から 79歳	80歳 以上	合計
疾病名	報告数											
新型コロナウイルス感染症	27	66	44	73	57	57	53	76	56	74	81	664
	10/	1.00/	70/	110/	00/	00/	0.0/	110/	00/	110/	1 20/	